

# 2017年度 事業報告書

自 2017 年 4 月 1 日

至 2018 年 3 月 31 日



認定NPO法人 開発教育協会 (DEAR)

|               |   |
|---------------|---|
| 2017 年度のトピックス | 2 |
|---------------|---|

## 事業の概要

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. はじめに～2017 年度をふりかえって | 3  |
| 2. 各種事業報告              |    |
| Ⅰ. ネットワーク事業            | 6  |
| Ⅱ. 実践・研究事業             | 7  |
| Ⅲ. 情報・出版事業             | 7  |
| Ⅳ. 研修・講座事業             | 9  |
| Ⅴ. 政策提言事業              | 10 |
| Ⅵ. その他の事業              | 10 |
| 3. 組織運営に関する報告          |    |
| 1. 会報「DEAR ニュース」の編集・発行 | 12 |
| 2. 認定 NPO 法人化          | 12 |
| 3. サポーターの募集            | 12 |
| 4. 組織基盤強化              | 12 |
| 5. 中期方針評価・新中期計画策定      | 13 |

## 処務の概要

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 1. 会員に関する事項                | 14 |
| 2. 役員に関する事項                | 14 |
| 3. 会員総会に関する事項              | 15 |
| 4. 理事会に関する事項               | 15 |
| 5. 評議員会に関する事項              | 15 |
| 6. 2017 年度事業評価・2018 年度計画会議 | 15 |
| 7. 各種委員会に関する事項             | 15 |
| 8. プロジェクト・チームに関する事項        | 16 |
| 9. 職員に関する事項                | 17 |
| 10. インターン・ボランティアに関する事項     | 17 |
| 11. 会員団体に関する事項             | 17 |

## 資料編

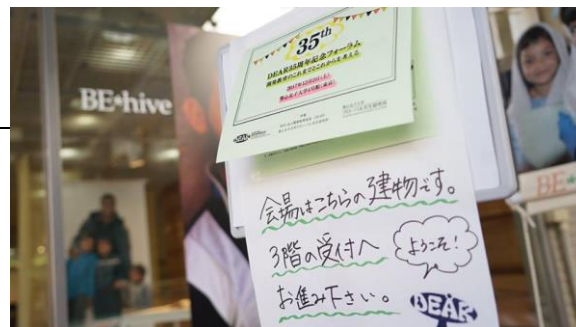
|                    |    |
|--------------------|----|
| 資料 1. 出版・編集・取材協力など | 18 |
| 資料 2. 名義後援・協力の実績一覧 | 19 |
| 資料 3. 他団体への賛同の実績一覧 | 19 |
| 資料 4. 講師派遣の実績一覧    | 20 |



2017 年度には  
3 冊の新刊本を  
発行しました！

## 2017年度のトピックス

- **35 周年記念フォーラム&パーティ**を聖心グローバルプラザで開催し、100 名を超える参加者とお祝いすることができました。
- 聖心女子大学 4 号館にオープンした展示・ワークショップスペース **BE\*hive（ビーハイブ）**の企画・運営を受託しました。初年度のテーマは「難民・避難民」でした。
- 教材『写真で学ぼう！地球の食卓～学習プラン 10』が消費者教育教材資料表彰で**内閣府特命担当大臣賞**として表彰されました。
- 3 月 16 日（金）に東京都より**認定 NPO 法人**として認定を受けました。個人・法人からのご寄付のほか、遺贈にも税制優遇が適用されます。
- 第 35 回全研は JICA 地球ひろばで開催！パネルトークは「グローバル時代の「豊かさ」を考える」をテーマに行い、計 **259 名**が参加しました。
- **2 つの新教材**『開発教育基本アクティビティ集 1 - 世界とのつながり』、『スマホから考える世界・わたし・SDGs』を発行！2 冊とも、好評をいただいています。



9 月にオープンした聖心女子大学 4 号館  
聖心グローバルプラザ（旧：JICA 地球ひろば）で  
35 周年記念フォーラムを開催しました（12 月）



消費者教育教材資料表彰の授賞式では松本純内閣府特命  
担当大臣より表彰状を受け取りました（6 月）



みなさまのご寄付でのご支援のおかげで  
認定 NPO 法人になりました（3 月）



第 35 回開発教育全国研究集会には  
全国から多くの方にご参加いただきました（8 月）

### 1. はじめに ～ 2017年度をふりかえって

#### 国内外の大きな動きの中で

経済のグローバル化は益々すすみ、貧困、格差、気候変動、人権侵害など持続不可能な状況は深刻化しています。世界ではポピュリズムや排外主義が台頭し、「2030 アジェンダ」がめざす連帯や公正ではなく、差別や分断が進んでいます。日本でも、少数者に対する差別やヘイトスピーチ等の問題は深刻になっています。

その一方で、アメリカでは銃規制のために高校生が立ち上がったたり、世界中で、性被害を止めるための動きが広がったりしています。少数者や弱者自らが立ち上がり、声を挙げるには、それを支える社会が変わることが必要です。持続可能な開発目標(SDGs)が目指す「誰一人取り残さない」状況をつくるためには、取り残されている人々が誰なのかを認識し、その背景や構造を明らかにして行くことが重要です。

開発教育が重視する問題の構造を理解し、仕組みを変える視点は、これから持続可能な社会を作る学びを進める上で益々重要になっています。

1982年に任意団体として設立された DEAR(当時は開発教育協議会)は 2017 年 12 月に設立 35 周年を迎えました。設立当初に比べれば、開発教育の取り組みは広がり、全国各地で様々な形で展開されるようになりました。それに応じて DEAR の役割は人材育成、教材開発、ネットワークづくり、政策提言と、広がっています。

市民組織として、持続可能で公正な社会をつくるための学びを一層進めていくためには、より多くの方々と協働・連携していく必要があります。

今年度も DEAR は、全国の会員や開発教育実践者、関係団体と共に、学びをとおして、より公正で持続可能な社会をつくることを進めてまいりました。以下にその報告をいたします。

#### 中期計画最終年

2013 年度から始まった中期計画(5 か年)は、最終年となり、それぞれのふりかえりと評価を行いました。詳細は、別紙「2013-2017 年度中期方針をふりかえって」をご覧ください。

なお、次の中期計画については、次年度 1 年間をかけて策定することになりました。社会状況の変化や開発教育をとりまく状況の変化、事務局の役割等を整理し、検討した上で、2019 年度より新しい中期計画を実施していきます。

以下に、2013-2017 年度中期重点事業の最終年の報告をします。

#### <2013-2017 中期重点方針>

1. 現在の開発のあり方やグローバル化がもたらす不公正を構造的に捉え広く発信する。
2. 「世界は変えられる」という思いに基づき行動する人を増やす。

重点事業 1 では、グローバルな課題の背景にある構造的な問題を分かりやすく提示し考えるきっかけをつくるために、『グローバル時代の「開発」を考える』(明石書、2017 年)を発行し、全国研究集会などで報告・課題提起をしました。

重点事業 2 では、前年度に発行した『ソーシャル・アクション・ハンドブック』の普及を行いました。全国研究集会で分科会を実施し、これまでの取組みを共有するとともに、チームメンバーとふりかえりの会を実施しました。

重点事業 3 では、持続可能な社会づくりのための学びのあり方、課題解決やコーディネーションの方法について対話し学ぶ場を広げるための、「学びあいフォーラム」を開催し、全国各地の 5 つのパートナー団体と、コーディネーターチームが主体となって、研修プログラムを行いました。

重点事業 4 では、SDGs 市民社会ネットワークの教育分野世話人(国内)として、ネットワークを通して、政府の政策に対して提案を行いました。また、高校の学習指導要領へのパブリック・コメントを広く呼びかけ、政策に対する意見表明をすることの重要性を伝えました。



## 参加を重視した事業運営

また、年度当初に計画した 6 つの領域「Ⅰ. ネットワーク事業」「Ⅱ. 実践・研究事業」「Ⅲ. 情報・出版事業」「Ⅳ. 研修・講座事業」「Ⅴ. 政策提言事業」「Ⅵ. その他の事業」においては、概ね事業計画通りに各種事業を実施することができました。

参加を重視するという点では、ウェブにもアップしている『「みんなの参加」のための DEAR の取組』にもあるように、あらゆる人々が安心して参加するための学びの場づくりをすすめています。

具体的には全国研究集会や教材体験フェスタにおいて難聴者のための要約筆記や IP トークによるノートテイク、ガイドヘルプ、託児を導入しています。また、視覚障害を持つ会員には、会報や機関誌のテキストを毎回データで送付しています。このような取組を広く伝え、他団体へも伝えていきたいと思えます。

まず、4つの各中期重点事業について、ご報告いたします。尚、各事業にかかわったメンバーについては、p.15～16をご覧ください。

### 重点事業 1. 「グローバル化と開発問題」研究会の実施

グローバルな諸課題を開発教育的な視点で捉え、その視点を提示することを目的に、2013 年度から活動が続けてきた本研究会では、昨年度から研究成果の取りまとめ作業を進め、本年度は、若い読者を主な対象とした以下のような一般書を明石書店から出版した。

また、8 月の全国研究集会では、パネルトークにおいて、研究会の成果を報告し、課題提起を行ったほか(詳細は、機関誌 64 号を参照)、12 月に開催した 35 周年記念フォーラムの分科会においては、書籍を紹介し、その内容について、参加者とともに議論を深める機会を設けた。

なお、本研究会の活動は本年度をもって終了することとした。

#### 1) 書籍の発行

書名:『グローバル時代の「開発」を考える～世界と関わり、共に生きるための7つのヒント』

企画:DEAR「グローバル化と開発問題」研究会

編著者:西あい、湯本浩之

著者:木下理仁、近藤牧子、重田康博、田中治彦

発行:明石書店

発行日:2017 年 8 月 25 日

判型・頁数:A5 判・300 頁

価格:2,400 円(+税)

#### 2) 全研・パネルトークの開催

●「グローバル時代の「豊かさ」を考える」

日時:2017年8月4日(土)

リソース:小泉雅弘(さっぽろ自由学校「遊」)、湯本浩之(宇都宮大学)

進行:西あい(DEAR事業コーディネーター)

内容:「貧しさ」や「豊かさ」を「剝奪としての貧困」という視点から考えてみることや、北海道における「貧しさ」や「豊かさ」の課題が提起された。

#### 3) 35周年記念フォーラム・分科会の開催

●『グローバル時代の「開発」を考える』読書会

日時:2017年12月2日(土)

ファシリテーター:木下理仁

リソース:近藤牧子、田中治彦、重田康博、湯本浩之  
内容:新刊書の内容から参加者の関心の高いテーマを選んだ結果、「平和」や「居場所」などのテーマについて議論を深めた。

### 重点事業 2. 公正な社会づくりへ参加するためのアクションの支援

前年度に発行した『ソーシャル・アクション・ハンドブック～テーマと出会い・仲間をつくり・アクションの方法を見つける 39 のアイデア』の普及、活動の共有とふりかえりのための検討会議を 6 回実施した。

#### 1) 検討会議の開催(全 6 回)

●第 19 回検討会議

日時:2017 年 4 月 20 日(木)19:00～21:00

内容:ハンドブックの広報について検討、全研分科会の内容およびゲストの調整。

●第 20 回検討会議

日時:2017 年 5 月 25 日(木)19:00～21:10

内容:ハンドブックの広報について検討、全研分科会の内容およびゲストの調整、2017 年度の講座(ソーシャル・アクション・クラス)開催について検討。

●第 21 回検討会議

日時:2017 年 6 月 19 日(月)19:00～21:00

内容:全研分科会の内容



およびゲストの調整、2017 年度の講座(ソーシャル・アクション・クラス)開催について検討。

#### ●第 22 回検討会議

日時:2017 年 7 月 13 日(木)19:00~21:00

内容:全研分科会の内容およびゲストの調整、2017 年度の講座(ソーシャル・アクション・クラス)開催について検討。

#### ●第 23 回検討会議

日時:2017 年 8 月 29 日(火)19:00~21:00

内容:全研のふりかえり、ふりかえりの方法について検討。

#### ●第 24 回検討会議:ふりかえり

日時:2017 年 10 月 22 日(日)14:00~17:00

内容:『ふりかえりツールキット』の中から「視点アプローチ」を利用して、これまでの活動のふりかえりを実施した。チームメンバーに加え、ソーシャル・アクション・クラス参加者(2015・2016 年)も参加した。

#### 2)全研・分科会の開催

●全研・第4分科会「社会づくりとアクション〜どうやってみんなで動こうか?〜」実施

日時:2017 年 8 月 5 日(日)

内容:ソーシャル・アクション・クラス実施内容の紹介とプログラム体験、体験談、アクションを生み出す要素についてパネルトーク。

#### 重点事業3.

国内外の開発問題を多様な人たちと話し合う  
場づくりの支援

活動分野は異なっているが、『持続可能な社会・地域づくり』のための教育・学習」という目的を共有する団体が集まって、それぞれの地域がもっと良くなっていくための学習活動の方向性を、1年を通して一緒に見つけるため、「持続可能な地域・社会づくりのための学びあいフォーラム(「学びあいフォーラム」)」を、2016 年度に引き続き実施した。

本フォーラムには各地域から「パートナー団体」として 5 団体が参加し、その活動を「コーディネーターチーム」が、各パートナー団体の研修プログラム作成や研修の実施面などでサポートした。

本フォーラムは全 4 フェーズを実施し、フェーズ 1、2 では研修を実施し、フェーズ 3 では各地域のパートナー団体がプログラムを作成・実践し、その後の

フェーズ 4 において、その成果を持ち寄り、どのような学びや変化があったのか、また実践にあたっての問題や課題をふりかえり、全体で共有した。

また、コーディネーターの有効なサポートのあり方や、学習者の変化を把握し効果を検討するためのコーディネーター会議を全 10 回開催した。

本事業は地球環境基金の助成金により実施した。

#### 1)学びあいフォーラムの実施(全 4 回)

##### ●「学びあいフォーラム」フェーズ 1

日時:2017 年 6 月 24 日(土)~25 日(日)1泊2日

内容:①「学びあいフォーラム」の趣旨などの確認

②「持続可能な地域・社会づくり」に密接なキーワードの確認

③指標(評価指標)を作成するための考え方について

##### ●「学びあいフォーラム」フェーズ 2

日時:2017 年 2017 年 7 月 22 日(土)(全日)

内容:評価指標を共有のうえ、7 月以降の実践にむけた教育・学習活動の企画を具体化した。

##### ●「学びあいフォーラム」フェーズ 3

日程:2017 年 7 月~2018 年 1 月

内容:各地域でのプログラムを計画・実施した。各現場に見合った「持続可能な社会・地域づくりのための学習」を創り出すためにどのようなことに考慮する必要があるかについて、経験を通してそれぞれの学びを得た。

##### ●「学びあいフォーラム」フェーズ 4

日時:2018 年 2 月 24 日(土)~25 日(日)1泊2日

内容:実践の成果と課題、それらを生んだ要因を分析・確認し可視化した。

#### 2)コーディネーター会議の開催(全 10 回)

学びあいフォーラムを進める上で、目的・目標、使用ツールや教材、資料等について検討し、プログラムを進めながら改善を図った。



フェーズ 1 での各団体の活動とそのコンパス分析の様子

## 重点事業 4. 教育政策に関する調査・ネットワークづくり

持続可能な開発目標(SDGs)の中の目標 4 のターゲット 7(SDGs4.7)は、ESD やグローバルシティズンシップ教育について述べられていることから、SDGs4.7 の国内実施のための政策提言を他の市民団体やネットワークと連携・協力しながら実施していくことをめざした。

また、SDGs市民社会ネットワークの教育分野世話人(国内)として、ネットワークを通して、提案書を提出した。その他、SDGs4.7 を進めるための戦略会議を関連団体と実施し、現状や課題について共有した。

さらに、高校の学習指導要領へのパブリック・コメントを広く呼びかけ、ESD や SDGsの明記や、「公共」が担うべき役割の明記などを提案した。

### 1)「ESD 国内実施計画」への働きかけ

政府の「ESD 国内実施計画」の協議を行う「持続可能な開発のための教育円卓会議」が 1 回開催され、上條代表理事が委員として出席した。ESD の SDGs への貢献について、DEAR の活動を紹介した。

#### ●第 1 回 ESD 円卓会議

日時:2018 年 2 月 21 日 10:00~12:00

場所:三田共用会議所

### 2)「SDGs 市民社会ネットワーク」の教育世話人として政策提言活動に協力

SDGs 市民社会ネットワークの教育分野世話人として提言し、政府の政策について具体的な提案を行った。

## 2. 各種事業報告

### I. ネットワーク事業

ネットワーク事業は、国内外の開発教育及びESD関係者と実践経験を共有し、開発教育の普及、深化をはかることを目的としている。今年度は、重点事業3「学びあいフォーラム」や「開発教育実践フォーラム2018」などを実施し、担い手との連携・強化を図った。

#### 1)「担い手」連携強化事業

地域の開発教育の担い手とのネットワーク維持・強化につとめた。

具体的には学びあいフォーラムを通して、持続可

能な地域づくりをすすめるパートナー団体を中心とする学びのあり方を協議した(p.5参照)。

また、2 月 25 日には、「開発教育実践フォーラム2018」を開催し、NGO や開発教育を推進する市民団体とともに、地域における SDGs をすすめる学びについて、協議した。本事業は、JICA の「NGO 等提案型プログラム」の受託事業として行われた。

#### <概要>

『開発教育実践フォーラム2018 地域×開発×NGO～SDGs時代の開発教育を考える』

日程:2018年2月25日(日)10:00~16:00

会場:JICA東京国際センター

共催:JICA

参加者数(関係者含む):73名

#### プログラム:

1)実践事例報告(各地域の5団体による持続可能な地域づくりの学びの事例報告)

2)テーマ別分科会

・分科会1:「持続可能な社会のための地域資源を見つけよう!」

・分科会2:「豊中型“協働の文化づくり”から考える」

・分科会3:「持続可能な地域づくりにおける変化のプロセスと開発教育の役割」

3)全体会(分科会共有)

内容:学びあいフォーラムのパートナー団体による実践報告をおこない、参加者が持続可能な社会づくりに、地域や個人が担う役割について考えるきっかけとなった。その後分科会を実施し、参加者との意見交換から、既存の活動を通じて持続可能な社会をどうつくるのかについて考えを深めることができた。

### 2)海外ネットワーク事業

#### ①ASPBAEの団体との交流

DEAR が団体会員になっているアジア南太平洋基礎・成人教育協会(ASPBAE/アスベ)の会員団体である、インドネシアの Permampu(Empower Sumatera Women)から 5 人の訪問者があり、互いの団体の活動や課題、など意見交換をした。

日時:2017 年 8 月 15 日(火)10:00~15:00

団体:Permampu(Empower Sumatera Women)

内容:活動内容・課題の共有

## Ⅱ. 実践・研究事業

開発教育の研究実践活動の質的な深化や向上に向けて、関連する教育的課題や今日的課題などに関する調査研究活動を行った。機関誌は「多文化共生」をテーマに特集を組んだ。

### 1)「開発教育研究会」

#### ①「グローバル化と開発問題」部会

重点事業 1(p. 4)を参照

#### ②「開発教育アーカイブ」部会

本部会は、DEAR 発足 30 周年を機に、散逸する過去の文書や資料の収集整理を目的とした自主的な活動を 2011 年度から開始し、2013 年度からは DEAR の研究事業のひとつに位置づけて活動してきた。

今年度はその成果の一部を「DEAR 設立に至る開発教育のルーツを語るⅡ」と題して研究誌『開発教育』(64 号、pp.134-141)で報告したほか、以下の通り2回の公開研究会を開催した。

今後は、これまで収集してきた文書や資料のほか、当時の関係者へのインタビュー記録などを整理し、DEAR のウェブサイト等で公開していくことを予定するが、DEAR の研究事業としては今年度をもって終了し、次年度以降は研究体制を整えながら自主的な研究活動を続けていくこととする。

#### <開催実績>

##### 第 10 回公開研究会

日程:2017 年 11 月 17 日(月)15:00~17:00

会場:上智大学田中研究室

テーマ:「開発教育の私の原点:ベトナム戦争下の難民支援事業」

講師:宮崎幸雄氏(元開発教育協議会代表理事/元日本 YMCA 同盟総主事)

参加者:5 名

##### 第 11 回公開研究会

日程:2018 年 1 月 26 日(月)16:00~18:00

会場:上智大学田中研究室

テーマ:「外務省の開発教育支援と開発教育協議会~APIC(国際協力推進協会)が果たした役割と課題~」

講師:重田康博氏(元財団法人国際協力推進協会)

参加者:4 名

### 2)機関誌『開発教育』の編集発行

機関誌『開発教育』第 64 号を発行した。特集は「多文化共生社会の未来と開発教育」とした。改めて「多文化共生社会」のあり方を構想し、そのための教

育の方向性に関する示唆と、学校内外での実践を取り上げた。

#### <概要>

タイトル:機関誌『開発教育 64 号』

特集:「多文化共生社会の未

来と開発教育」

発行:2017 年 12 月 1 日

発行部数:900 部

価格:2,000 円(+税)



### 3)第 35 回「開発教育全国研究集会」の開催

ワークショップ(6 コマ)、パネルトーク(テーマ:グローバル時代の「豊かさ」を考える)、自主ラウンドテーブル(16 コマ)、実践事例報告(4 コマ)、分科会(5 コマ)を通して、開発教育・ESD・国際理解教育等に関わる実践者の経験交流・意見交換を中心に据えながら、議論を深めた。パネルトークでは、経済や情報のグローバル化が進行、貧富の格差が拡大していく中で、人々を幸せにする「豊かさ」とは一体何なのか、それはどのようにして実現することが可能なのか、を議論した。

また、多様な参加者が参加しやすい場づくりのために、要約筆記、パソコンによるノートテイク、託児などの対応を行った。

#### <概要>

日程:2017 年 8 月 5 日(土)~6 日(日)

会場:JICA 地球ひろば

参加者数: 259 名(関係者を含む)

後援:文部科学省、外務省、環境省、特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会、特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター、JICA 地球ひろば、一般財団法人自治体国際化協会、一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク、ESD 活動支援センター、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター

## Ⅲ. 情報・出版事業

新規教材等の作成・増刷、ウェブサイトや SNS を活用した情報発信を行った。

### 1)新規教材図書の企画編集と制作発行

開発教育に関連する次のような新規の教材や図書の、企画編集や制作発行や増刷をおこなった。またそのために、引き続きその財源や出版社等との実施



体制の確保に努めた。

### ①『開発教育基本アクティビティ集 1ー世界とのつながり』

開発教育の初心者を対象に、シンプルで基本的なアクティビティを紹介する目的で発行した。準備が簡単で、様々なテーマにつなげて展開したり、応用したりしやすい4つのアクティビティを収録している。

発行:開発教育協会

発行日:2017年12月1日

判型・頁数:A4判・32頁

発行部数:1,500部

価格:1,200円(+税)



### ②『スマホから考える世界・わたし・SDGs』

スマホを取り巻く人権問題について考え、自分や世界、SDGs とのつながりを考えることを目指した新教材を発行した。

発行:開発教育協会

発行日:2018年3月10日

判型・頁数:A4判・68頁

写真とスライドを無料ダウンロードできるパスワード付

発行部数:1,500部

価格:2,000円(+税)

助成:大阪コミュニティ財団、LUSH チャリティバンク



### ③その他図書教材の編集企画・編集協力

既存の教材で在庫が少ない以下の教材の改訂・増刷発行を行った。

＜改訂増刷発行＞

『18歳選挙権と市民教育ハンドブック【補訂版】』

発行:開発教育協会

編集協力:上智大学総合人間科学部教育学科

発行日:2017年12月

発行部数:1,000部

・実践報告やコラムなどを加筆した

＜単純増刷発行＞

『フードマイレージどこからくる？わたしたちの食べ物く「地球の食卓」学習プランシリーズ＞』

発行:開発教育協会

増刷日:2018年3月1日

発行部数:500部

## 2)出版物販売

当会発行の教材・図書資料を販売した他、関係団体の発行図書などを受託販売し、自己財源の強化を図った。また、3年前から掲載している「ヒルマ教材総合カタログ」に加え、今年度から「教材総合カタログ SQLabo(スクラボ)」に一部の教材を掲載することができた。

＜書籍売り上げベスト5＞

第1位『ワークショップ版・世界がもし100人の村だったら』

794冊

第2位『新・貿易ゲーム』

529冊

第3位『ソーシャル・アクション・ハンドブック』

375冊

第4位『写真で学ぼう！地球の食卓学習プラン10』

261冊

第5位『開発教育 基本アクティビティ集』183冊

## 3)広報資料作成

### ①ウェブサイトの運営

開発教育ポータルサイトとしてウェブサイトでの情報発信を行った。

SNS の普及によりウェブページの閲覧数は一般的に微減傾向にあるが、同様の傾向が見られた。よく読まれているのは「参加型学習」「教材」「イベント」関連のページ。イベント参加申込や会費・寄付などの支払いはウェブ経由(paypal 決済)のものが多くを占めている。また、モバイル端末利用者の割合が増加していることから、来年度以降、レスポンスなサイトにリニューアルする予定である。

・ 189,864 セッション 前年: 203,094

・ 416,739 ページビュー 前年: 440,655

・ 1.27 平均ページビュー 前年: 2.17

・ 平均サイト滞在時間 01:42 分 前年: 01:38 分

・ 新規セッション率 88.8% 前年: 78.29%

・ PC ユーザー 55% (モバイル 45%)

### ②スタッフ・ブログの運営

講師派遣レポートや事務局の日常業務等を不定期に掲載している。よく読まれているのは、講師派遣レポートである。

■ 投稿記事:40本 前年:31本

・ 3,433セッション 前年: 4,069

・ 5,514ページビュー 前年: 7,102

・ 1.61平均ページビュー 前年:1.75

・ 平均サイト滞在時間1:26分 前年:1:36分

・ 新規セッション率88% 前年:71%

### ③Facebookページの運営

<https://www.facebook.com/ngoDEAR/>



2013年8月に全研広報用に開始し、9月末に公式Facebookページとしてリニューアルした。主催イベントや教材の紹介のほか、開発教育や国際協力に関連するニュースも配信している。社会課題を扱った記事や、教材・リソースに関する記事への反響が大きい。3月末の「いいね！」数:2,941(前年比+407)。

### ④メールマガジンの発行

毎月1回のメールマガジンの発行を開始し、主催事業や資料の情報を発信した。3月末現在2,954名(前年比+104名)が登録している。

### ⑤ツイッターの運営

<https://twitter.com/ngoDEAR>



2011年11月16日にツイッターを導入(アカウント名は@ngoDEAR)。イベント情報や教材関連情報を中心にツイートしている。3月のフォロワー数:870(前年比+131)。

### ⑥資料請求者への対応

ウェブサイト上から無料での資料請求を実施した。全国から請求があり、38件(前年48件)。うち3名の新入会があった。

## IV. 研修・講座事業

講師派遣事業に関しては、消費者教育関係者からの要請が増え、また、アクティブラーニング、SDGsについて、ファシリテーター養成など、多様なニーズに対応した。また、「教材体験フェスタ」を開催し、好評を得た。

### 1) 講師派遣事業

政府機関・自治体・教育委員会・学校・大学・自治体国際化協会・NGOなどからの講師派遣依頼に対して、DEARの役職員等を講師として計57件111回派遣した。述べ参加者は約4,000名。

依頼先は大学や高校、自治体、NGOなどが多く、内容は各種ワークショップの他、アクティブラーニング研修やSDGsをテーマにしたもの、ファシリテーター養成などの内容が多かった。詳細は資料編を参照。

### 2) 35周年フォーラム&パーティ

DEARの設立35周年を記念し、記念フォーラムとパーティを行い、約100名の参加があった。関係者や

会員の方々と、今までのDEARの歩みをふりかえり、これからの展望を描く場となった。

#### <概要>

名称:DEAR35周年記念フォーラム～開発教育のこれまでとこれからを考える。

日程:2017年12月2日(土)

会場:聖心グローバルプラザ

■フォーラム 13:30～17:30

第1部 分科会

A.『グローバル時代の「開発」を考える』読書会

担当:編集者(木下理仁、近藤牧子、田中治彦、重田康博、湯本浩之)

B.新教材『スマホの一生(仮)』体験ワークショップ

担当:小口瑛子(DEAR)

C.新教材『開発教育基本アクティビティ集ー世界とのつながり』体験ワークショップ

担当:八木亜紀子(DEAR)

D.聖心グローバルプラザBE\*hiveをつかった難民ワークショップ

担当:岩岡由季子(BE\*hive)、中村絵乃(DEAR)

第2部 全体会

挨拶:上條直美

分科会振り返り・スライド上映「DEARのこれまで・これから」佐藤友紀(DEAR理事)

■パーティ 18:00～20:00

会場:Café Jasmine

### 3) 教材体験フェスタ 2018

聖心グローバルプラザを会場として、100名ほどの参加があった。参加申込も開始早々に多く、締め切り約一か月前に定員に達した。今年は7割以上が非会員の参加となり、DEARと初めて接点を持つイベントとなる人も多かった。

#### <概要>

日程:2018年3月24日(土)

会場:聖心グローバルプラザ

後援:文部科学省、聖心女子大学グローバル共生研究所

参加者数(関係者除く):95名

新規入会数:7名

内容:新教材である「スマホから考える世界・わたし・SDGs」等DEARの教材を使ったワークショップに加え、BE\*hiveの展示を利用したワークショップを含め9つのワークショップを実施し、教材や進め方について学び、各現場での実施を促すことをねらいとした。参加者からは、実践的なヒントを得られた、地方でも開催してほしいという声があり、教材販売とも好評

だった。

#### 4) 各種講座

##### ①「開発教育入門講座」

開発教育の基礎的理解を目的とした入門講座を毎月1回、計10回(8月は全研で実施)、延べ155名の参加者を得て開催した。

10回の講座のうち4回は「特別編」として、「コーヒークップの向こう側」(5月)、「写真で学ぼう! 地球の食卓」(7月/横浜YMCAと共催)、「援助する前に考えよう」(10月)、「もっと話そう! エネルギーと原発のこと」(3月)を実施した。

また、10月より会場を聖心グローバルプラザ内「BE\*hive」に変更して開催した。

#### V. 政策提言事業

国際協力政策や教育行政に働きかけるとともに、SDGs市民社会ネットワークに協力し、政府のSDGsアクションプランへの提案などを行った。

また、高校の学習指導要領のパブリック・コメントに対して、DEAR としても提出するとともに、広く参加を呼び掛けた。

##### 1) 行政に対する政策提言

###### ①国際協力政策・援助政策に対する政策提言

SDGs市民社会ネットワークの教育分野の世話人になることで、SDGsに関する政策提言を行うことができた。

また、NGO・JICA 協議会において、「開発教育推進のためのタスク」の事務局を担い、開発教育推進のためのアクションプランを作成し、4月の会議で報告をした。

###### ②教育行政・教育政策に関する調査・ネットワークづくり

重点事業 4(p.6) 参照

##### 2) キャンペーンへの協力

###### ①教育協力 NGO ネットワーク(JNNE)主催「世界一大きな授業 2017」への協力

基礎教育を受けられない子どもたちや非識字の人々が世界中に多くいる現状に目を向け教育の大切さを世界中で同じ時期に考える地球規模のイベント。

<概要>

日程:2017年4月15日～5月31日

協力内容:教員の手引の作成、助言、広報。北海道・

横浜・広島での実践者のためのプレ・ワークショップの実施。

参加者数:506校・グループの43,493人

#### VI. その他の事業

##### 1) 受託事業

###### ①外務省「NGO相談員プログラム」

外務省より標記プログラムを受託し、関東圏を中心に全国から開発教育や国際協力に関する幅広い相談を782件受けた。出張サービスは関東圏を中心に7件行った。また、SNSを通じて相談員制度に関する情報発信も行い、約15,000件のリーチ数であった。

###### ②JICA NGO等提案型研修

JICAより標記プログラムを受託し、NGOや開発教育を推進する市民団体の組織強化、ネットワーク強化のための事業を実施することになった。

具体的には、9月13日に『NGOのための教材づくりセミナー1(研修会)～NGOの開発教育教材を学ぶ～』、『SDGs教材おためしセミナー～NGOの開発教育教材を一緒につくる～』、および2月25日に「開発教育フォーラム」(ネットワーク事業 p.7参照)を開催した。

###### 『NGOのための教材づくりセミナー1(研修会)～NGOの開発教育教材を学ぶ～』

NGOのリソースや経験を活かした開発教育プログラムづくりの一環として、研修会を実施。

<概要>

日 時:2017年9月13日(水)13:00～17:00

会 場:富坂キリスト教センター1号館

参加者数(関係者含む):27名

プログラム:

1) 開発教育ワークショップ

「このTシャツはどこから来るの? -ファッションの裏側にある児童労働の真実」講師 田柳優子さん(NPO法人ACE)

2) 教材作成のヒントおよび解説

3) グループディスカッション(各団体の現状と課題共有)

###### 『SDGs教材おためしセミナー～NGOの開発教育教材を一緒につくる～』

研修会に参加したNGOに教材を発表してもらい、学校関係者や地域の指導者からコメントをもら共有会を実施した。

<概要>

日 時:2018年1月7日(日)10:00~17:30

会 場:JICA東京

参加者数(関係者含む):68名

プログラム:

1) 分科会(NGOによる教材ワークショップ・意見交換会)

【発表NGO】

・監獄人権センター「私たちの裁判員裁判」

・WE21ジャパン「今日はフェアトレードの日!？」

・プランテーション・ウォッチ「パーム油について」

・ワールド・ビジョン・ジャパン「難民の子どもたち」

(全て仮の教材名)

2) 全体会(ふりかえり・SDGsとNGOの開発教育教材について)

③聖心グローバルプラザ内「BE\*hive」

聖心女子大学グローバルプラザ内に設置された展示・ワークショップスペースである「BE\*hive(ビー・ハブ)」の運営業務を受託し、展示企画の進行管理や、ワークショップの企画・運営等を行った。

<概要>

聖心グローバルプラザ「BE\*hive」

受託期間:2017年5月1日~2018年3月31日

主管:聖心グローバル共生研究所

<業務内容>

A.展示企画

- ・企画の構想協力・教育的な視点の付加
- ・企画全体へのプロジェクトマネジメント
- ・企画立案から実行までの「型」づくり

B.ワークショップの企画

- ・展示を使ったワークショップの企画
- ・ワークシート・プレゼン資料の作成
- ・ワークショップ進行案・ファシリテーションマニュアルの作成・実施後のふりかえり・ワークショップの改善

C.ワークショップの実施

- ・ワークショップ実施回数:28回(内:聖心女子大学学生向け 17回)
- ・参加合計数:611名(内聖心女子大学基礎課程演習参加者約300名)

2) 外部団体との共催・協力事業

①2017年度開発教育・国際教育セミナー実践編

「学校で、地域で広げるSDGs(持続可能な開発目標)」

<主管:DEAR大阪>

(公財)大阪国際交流センター、(独)国際協力機構関西国際センターが共催する、開発教育に関する基礎

的理解を目的とした連続セミナーの企画・開催に協力した。

<開催実績>

日程:下記の通り

会場:大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)

共催:(公財)大阪国際交流センター、(公財)大阪府国際交流財団、(独)国際協力機構関西国際センター

協力:DEAR大阪

後援:大阪市教育委員会、大阪府教育委員会、(特活)関西NGO協議会

●第1回:2017年10月29日(日)10:30~16:30

AM「SDGs 入門編 ~世界と地域をつなぐ~」

講師:岡島克樹(大阪大谷大学)

PM:「多文化ルーツの隣人とつくる豊かな社会」

講師:早崎直美(RINKすべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク)参加者数(関係者含む):33名

●第2回:2018年2月18日(日)10:30~16:30

「スマホの真実」からエシカルな選択へ」

講師:田中滋(アジア太平洋資料センター(PARC))

参加者数(関係者含む):25名

②日本 YMCA 同盟「地球市民育成プロジェクト」

日本 YMCA 同盟が実施する「地球市民育成プロジェクト」の内容や概要について助言し、カリキュラムの作成、運営にアドバイザーとして協力した。

また、アジアのユースと共に1週間活動する夏期研修についてもその企画・運営に協力した。

<概要>

日時:2017年8月28日(月)~9月3日(日)

会場:日本 YMCA 同盟国際青少年センター東山荘(静岡県御殿場市)

内容:グローバルイシューの理解、問題の構造理解、多文化共生・人権などをテーマにしたフィールドワーク、アクションプランづくり、グループワーク等

参加者:日本の若者 30名、海外の参加者:15名

③米国大使館「Girls Unlimited Program」

米国大使館より標記プログラムを受託し、女子中高生を対象としたエンパワメントおよびリーダーシップを身につけることを目的としたプログラムの企画及び運営に協力した。

<概要>

日 時:2017年9/6(水)、10/4(水)、11/15(水)、12/11(月)、2018年1/25(木)、2/15(木)(全6回)



会 場:アメリカンセンターJAPAN

参加者:女子中高生35名、米国留学経験者／人物  
交流プログラム参加経験者20名

#### ④プランテーション・ウォッチ教材作成への協力

NGO のネットワーク団体「プランテーション・ウォッチ」の作成するアブラヤシ・プランテーション開発をテーマにした教材についての内容や進め方、編集などに関して協力した。

2017 年度～19 年度までの 3 か年のプロジェクトで、教材完成は 2019 年度を予定している。

#### ⑤監獄人権センター教材作成への協力

NPO 法人監獄人権センターおよびレディング大学(英国)の共同プロジェクト「CrimeInfo」の作成する刑罰と死刑をテーマにした教材についての内容や進め方、編集などに関して協力した。

教材の完成は 2018 年 7 月を予定している。

#### ⑥SDGs日本の冊子作成への協力

(一社)SDGs市民社会ネットワーク(SDGs ジャパン)が編集・発行した以下の冊子の編集協力を行った。

<概要>

『基本解説そうだったのか。SDGs』

発行:(一社)SDGs市民社会ネットワーク

発行日:2017年9月25日

#### ⑦NGO からの教材作成への相談対応

ほか、複数の国際協力 NGO から教材作成やプログラム開発についての相談が寄せられ、対応した。

### 3. 組織運営に関する報告

#### 1)会報「DEAR ニュース」の編集発行

開発教育の関連情報をはじめ、DEARや各地の「担い手」などの活動状況を紹介することを目的とした会報を5回(4・6・8・10・12月)、各号900部を発行した。レイアウト担当のデザイン事務所をテトルクリエイティブに変更した。



<発行実績>

・第181号(発行:4月1日)

特集「開発教育と居場所論－誰にでも居場所がある世界づくり」

・第182号(発行:6月1日)

特集「多文化ソーシャルワーク 多文化に配慮した生活支援を目指して」

・第183号(発行:8月1日)

特集「メガ自由貿易協定RCEP(アールセップ)とはなにか」

・第184号(発行:10月1日)

特集「グローバル時代の「豊かさ」を考える－第35回開発教育全国研究集会 シンポジウム採録」

・第185号(発行:2月1日)

特集「フィリピンバナナとどう向き合うのか? -『バナナと日本人』から36年」

#### 2)認定 NPO 法人化

2014 年 10 月 3 日～2017 年 10 月 2 日の期間で、東京都から特例認定 NPO 法人として認定を受けており、期限が切れる前に東京都に対して認定 NPO 法人の申請を行った。その結果、2018 年 3 月 16 日に、認定 NPO 法人として認定された。

申請の準備が遅れたこともあり、10 月 3 日から約 5 か月間、寄付金控除等の優遇措置が適用されない期間が発生してしまった。

今後は、認定 NPO への寄付による税額控除の制度等、寄付者自身へのメリット継続的なサポーターを集めるとともに、寄付を広く呼び掛ける戦略を検討していく。

#### 3)サポーターの募集

継続的に DEAR をサポートしてくれる人を増やし、組織強化につなげるために、2014 年 12 月よりサポーター制度(年 4,000 円以上の定額寄付制度)を開始した。より多くの方に支援いただくために、昨年度より「DEAR を支える 100 人委員会」を立ち上げ、過去会員や関係者に依頼の手紙などを送付し、広く支援を呼びかけた。100 人委員会の方にはメッセージや顔写真を出して頂くように依頼し、ウェブサイトや会報などで紹介することで、DEAR 応援団としての顔となって頂いた。

認定 NPO として認定されたので、来年度はより一層サポーターを増やしていく。

#### 4)組織基盤強化

安定的な組織運営の基盤の一つである、財政状況を見直し安定させることを目標に、理事内で組織基盤強化タスクを立ち上げ、協議を行った。2018 年 3 月までに 700 万円の増収を図ることを目標として、事務局内での既存の活動の改善や、新規事業の検討に取り組んだ。結果としては、受託事業により、短

期的には目標に近づくことができたが、長期的な財政基盤の安定には未だ繋がっていないことから、引き続き強化が必要である。

#### ●第5回会議

日時:2017年6月30日(金)19:00～21:00

会場:DEAR 資料室

内容:DEAR の予算構造、35周年記念募金企画、今後の基盤強化について、

#### 5)中期方針評価・新中期計画策定

2013年度～2017年度の「中期重点方針」の評価と、次の新中期計画について、以下のような会議で議論を行った。2018年度は1年間かけて、組織のあり方や中期計画を検討し、2019年度～2021年度の「新中期計画」を検討することになった。

##### 1)中期横断会議

日時:2017年6月17日(土)13:00～17:00

会場:立教大学6号館 6506教室

内容:各重点事業の評価報告、中期計画のつくり方について、今後の進め方について。

##### 2)理事・評議員合同会議

日時:2017年7月15日(土)14:00～17:00

会場:富坂キリスト教センター 1号館

内容:中期重点事業ふりかえり共有、新・中期方針に向けたディスカッション、今後5年間で具体的に実施すること。

##### 3)中期重点方針策定会議

日時:2017年9月21日(木)19:00～21:00

会場:DEAR 資料室

内容:中期重点方針策定の流れについて、今までの会議の報告、今後の進め方。

##### 4)中期計画戦略会議

日時:2018年2月10日(土)14:00～17:00

会場:上智大学グローバル・コンサーン研究所

内容:中期計画について、DEAR の現状についての情報共有、DEAR の将来像について、イメージの共有、ふりかえり。

##### 5)将来構想作成部会

日時:2018年3月20日(火)19:00～21:00

会場:DEAR 資料室

内容:外部環境について、10年後のDEAR について。



役員および職員一同(2018年4月28日)

## 処務の概要

### 1) 会員に関する事項

2018年3月末現在の会員数は、次の通り。ただし、括弧内は昨年末比の数字。

- 正会員            団体 22団体(－1団体)  
                      個人 387名(－17名)
- 賛助会員        団体 18団体(+1団体)  
                      個人 243名(+8名)  
                      (内学生会員:24名／－2名)

＜参考＞            団体会員 40団体(±0団体)  
                      個人会員 630名(－9名)



### 2) 役員に関する事項

(註:役員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

#### ●代表理事

上條直美(上智大学)

#### ●副代表理事

湯本浩之(宇都宮大学)

#### ●常任理事

阿部真理子((認定NPO)IVY)

#### ●理事

宇井志緒利(立教大学)

榎井 縁

(大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム)

佐藤友紀(高校教員)

田中治彦(上智大学)

筒井哲朗((一社)シェア・ザ・プラネット)

三宅隆史((公社)シャンティ国際ボランティア会)

三輪 敦子((一財)アジア・太平洋人権情報センター)

向井一朗(団体職員) ※逝去により途中退任

本山明(大学講師)

中村絵乃((認定NPO)開発教育協会)

#### ●監事

岩崎裕保(帝塚山学院大学)

山崎唯司(団体役員)

#### ●評議員

阿部秀樹(会社員)

伊藤通子(東京都市大学)

枝木美香((認定NPO)アーユス仏教国際協力ネットワーク)

大江 浩((公社)日本YMCA同盟)

甲斐田万智子((認定NPO)子ども権利センター)

近藤牧子(早稲田大学)

重田康博(宇都宮大学)

白木朋子((認定NPO)ACE)

田中 博(参加型評価ファシリテーター)

椿原 恵

(コミュニティコミュニケーション・サポートセンター(Commu))

永田佳之(聖心女子大学)

檜府暢子(東京大学付属中等教育学校教員)

西平久美子(団体職員)

浜本裕子(YMCA学院高等学校)

早川信夫(日本放送協会) ※逝去による途中退任

林 大介(模擬選挙推進ネットワーク)

前嶋 葵((特活)コモンビート)

三田 善雄(みた農園)

諸 英樹(ニュー・インターナショナルリスト・ジャパン)

### 3) 会員総会に関する事項

#### 2017年度定期会員総会

日時:2017度5月27日(土)

会場:富坂キリスト教センター1号館

<第1部> 13:00~15:00

公開ワークショップ&報告会

レジリエンスを育む小学校

~ブラジルのオルタナティブスクールでの学び

<第2部> 15:30~17:00

#### 2017年度定期会員総会議案

<議案審議>

##### 第1号議案

2016年度事業報告および決算報告について

第2号議案 定款変更について

<報告>

①2017年度事業計画および予算について

②会員表彰式

### 4) 理事会に関する事項

#### ●第1回理事会

日時:2017年5月27日(土) 17:00~19:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議案:

1. 各種委員会の設置および委員選任
2. 聖心女子大学グローバルプラザについて
3. 共同声明への賛同依頼について

#### ●第2回理事会

日時:2017年10月7日(土) 14:00~17:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議案:

1. 上半期事業報告・決算報告・下半期事業計画
2. 中期重点方針策定について
3. 次期理事候補について
4. 賛同内規について

#### ●第3回理事会

日時:2018年3月3日(土) 14:00~17:00

会場:聖心グローバル共生研究所

議案:

1. 2017年度の事業報告・決算見込み報告
2. 2018年度事業計画・予算
3. 中期重点事業評価・計画について
4. 組織基盤強化について
5. 新年度役員選考について

#### ●第4回理事会

日時:2018年4月26日(土) 14:00~17:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議案:

1. 2017年度の事業報告・決算報告
2. 2018年度事業計画・予算
3. 中期計画策定について
4. 次年度の役員選考について
5. 定款の変更について
6. 市民社会スペースNGOアクションネットワークへの賛同について

### 5) 評議員会に関する事項

#### ●第1回評議員会 & 評議員・理事合同会議

日時:2017年7月15日(土) 13:00~17:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

##### 1. 評議員会

- 1) 活動報告
- 2) 理事候補者選考委員会の設置について

##### 2. 合同会議 中期重点方針について

- 1) 2013~2017年度中期重点じこう振り返り共有
- 2) 新・中期方針に向けたディスカッション
- 3) 今後5年間で具体的に実施すること
- 4) 全体共有

### 6) 2017年度事業評価・2018年度計画会議

2017年度の事業評価と、2018年度の事業計画を共有し、議論した。

日時:2018年2月10日(土) 10:00~17:00

会場:上智大学グローバル・コンサーン研究所

議題:

- ・2017年度事業評価
- ・2018年度事業計画
- ・中期計画戦略会議

### 7) 各種委員会に関する事項

本年度は、次のような各種委員会が理事会内に設置され、当会の運営や事業について協議を行った。  
(註:各種委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

#### ①DEAR大阪運営委員

委員長:佐藤友紀(高校教員)

委員:荒川共生((特活)ボルネオ保全トラストジャパン)／岩崎裕保(帝塚山学院大学)／内田弘志(株式会社拓人)／大森容子((公財)滋賀県国際協会)／談儀善弘(高校教員)／浜本裕子(YMCA学院高等



学校)／榛木恵子(社会福祉法人 聖和共働福祉会)／丸山まり子(地球市民フォーラムなら)／松田道子((公財)神戸YMCA)／三輪敦子((一財)アジア・太平洋人権情報センター)／山中信幸(川崎医療福祉大学)

## 8)プロジェクト・チームに関する事項

本年度は、以下のような研究会やプロジェクト・チームが設置され、各事業や活動の企画運営にあたった。(註:各種委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

### ＜中期重点事業＞

#### ●重点事業1:「グローバル化と開発問題」研究会の実施

木下理仁(かながわ開発教育センター)、近藤牧子(早稲田大学)、重田康博(宇都宮大学)、田中治彦(上智大学)、湯本浩之(宇都宮大学)、西あい(DEAR事業コーディネーター)

#### ●重点事業2:公正な社会づくりへ参加するためのアクションの支援

阿部秀樹(会社員)、近藤牧子(早稲田大学)、鈴木洋一(WakeUpJapan)、関愛(高校教員)、田中浩平(団体職員)、前嶋葵(コモンビート)、松尾智子(高校教員)、八木亜紀子(DEAR)

#### ●重点事業3:国内外の開発問題を多様な人たちと話し合う場づくりの支援

阿部眞理子(IVY)、上條直美(上智大学)、佐藤友紀(高校教員)、椿原恵(コミュニティコミュニケーション・サポートセンター)、山西優二(早稲田大学)、西あい(DEAR事業コーディネーター)、伊藤容子・中村絵乃(DEAR)

#### ●重点事業4:教育政策に関する調査・ネットワークづくり

上條直美(上智大学)、田中治彦(上智大学)、三宅隆史(シャンティ国際ボランティア会(SVA))、本山明(大学講師)、湯本浩之(宇都宮大学)、中村絵乃(DEAR)

### ＜研究会・プロジェクト・チーム＞

#### ①開発教育研究会

- a)「グローバル化と開発問題」部会  
重点事業1メンバー(左欄参照)
- b)「開発教育アーカイブ」部会

田中治彦(リーダー／上智大学)、近藤牧子(早稲田大学)、湯本浩之(宇都宮大学)

#### ②第35回「開発教育全国研究集会」実行委員会

栗本知子(あおぞら財団)、近藤牧子(DEAR評議員)、島田晶子(小学校教諭)、七宝可南子(小学校教諭)、秦さやか(小学校教諭)、濱田会美(小学校教諭)、前田朝子(Villa Education Center 日本語活動ファシリテーター)、松尾慎(東京女子大学)、松倉紗野香(上尾市立東中学校)、本山明(法政大学教職センター)、西あい(DEAR事業コーディネーター)、中村絵乃・八木亜紀子・小口瑛子(DEAR)

#### ③機関誌「開発教育」編集委員会

青沼由衣(早稲田大学大学院)、近藤牧子(早稲田大学)、磯野昌子(かながわ開発教育センター)、小野行雄(高校教員)、上條直美(上智大学)、奈良崎文乃(国際NGO)、二ノ宮リムさち(特集担当／東京農工大学)、野口扶美子(ロイヤルメルボルン工科大学大学院博士課程)、西あい(DEAR事業コーディネーター)、中村絵乃・小口瑛子(DEAR)

#### ④「スマホから考える世界・わたし・SDGs」編集委員会

大平和希子(東京大学大学院)、田中滋(アジア太平洋資料センター)、華井和代(東京大学)、八木亜紀子・小口瑛子(DEAR)

#### ⑤「開発教育入門講座」チーム

大野のどか(リーダー／カフェオーナー)、定光香(会社員)、都筑慎也(会社員)、韓朱仙(コモンビート)、福島智子(桜美林大学)、日野智子(会社員)、向井一朗(団体職員)、大平和希子(大学院生)、岩岡由紀子(BE＊hive)、八木亜紀子・小口瑛子(DEAR)

#### ⑥会報「DEARニュース」編集委員会

阿部秀樹(リーダー／会社員)、甲斐和歌子(NGO職員)、片山直美(会社員)、清水千絵(団体職員)、須磨珠樹(会社員)、滝本雅章(事務局ボランティア)、田中祥一(高校教員)、出口雅子(NGO職員)、菊池哲佳(団体職員)、佐藤友梨(会社員)、松下彩(会社員)、三宅麻子(団体職員)、中島智(大学教員)、八木亜紀子(DEAR)

#### ⑦組織強化基盤検討委員会

阿部眞理子(IVY)、榎井縁(大阪大学)、上條直美(上智大学)、筒井哲朗(シェア・ザ・プラネット)、湯本浩之(宇都宮大学)、中村絵乃・八木亜紀子(DEAR)

## ⑧中期方針策定委員会

阿部眞理子(IVY)、宇井志緒利(立教大学)、枝木美香(アユス=仏教国際協力ネットワーク)、上條直美(上智大学)、三輪敦子((一財)アジア・太平洋人権情報センター)、中村絵乃・八木亜紀子(DEAR)

## 9)職員に関する事項

|            |                                       |
|------------|---------------------------------------|
| 事務局長       | 中村 絵乃(有給・常勤・専従)                       |
| 事業主任       | 八木 亜紀子(有給・常勤・専従)                      |
| 事業担当       | 伊藤 容子(有給・常勤・専従)                       |
| 事業担当       | 小口 瑛子(有給・常勤・専従)                       |
| 経理・総務担当    | 大久保 美智彦<br>(有給・非常勤・嘱託 11月末まで)         |
| 経理・総務担当    | 青山 亜紀(有給・非常勤・嘱託<br>6月～12月末まで)         |
| 経理・総務担当    | 牧 啓太(有給・非常勤・嘱託 11<br>月～／常勤・専従 1月～)    |
| 総務担当       | 横山 亜紀(有給・非常勤・嘱託<br>8月末まで)             |
| BE*hive担当  | 岩岡 由季子(アルバイト10月～)<br>照内 彩乃(アルバイト10月～) |
| 事業コーディネーター | 西 あい(業務委託)                            |

## 10)インターン・ボランティアに関する事項

今年度に事務局で受け入れを行ったインターン・ボランティアは次の通り。

### <事務局インターン>

山本絵理(大学生、2017年5月～8月)  
蔵本ひろ(大学生、2017年8月～9月)



### <事務局ボランティア>

滝本雅章(社会人、2007年11月～継続)  
石田真理子(社会人、2014年4月～2017年7月)  
高階悠輔(大学院生、2016年5月～2018年3月)  
木村明日美(社会人、2016年10月～2017年7月)  
寺澤義樹(社会人、2017年4月～12月)  
岩岡由季子(社会人、2017年6月～8月)  
本橋彩香(大学生、2017年7月～2018年3月)  
渡辺栄子(大学院生、2017年9月～12月)  
小島えりか(大学生、2017年11月～継続)  
信太祐子(社会人、2017年12月～継続)

また、第35回開発教育全国研究集会には32名、教材体験フェスタには8名のボランティア参加があった。

## 11)会員団体に関する事項

DEARが会員として参加した団体は次の通り。

### <正会員>

- ・ (特活)国際協力NGOセンター(JANIC)
- ・ 教育協力NGOネットワーク(JNNE)
- ・ (特活)持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)
- ・ (一社)SDGs市民社会ネットワーク
- ・ アジア南太平洋基礎・成人教育協会(ASPBAE)

### <賛助会員>

- ・ (特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

以上



今年もたくさんのボランティアと共に活動しました

## 資料1: 出版・編集・取材協力など

### <書籍>

①『非戦・対話・NGO－国境を越え、世代を受け継ぐ私たちの歩み』(2017年11月)

発行:新評論

内容:NGO非戦ネットの有志による自分史。第8話「怒りの先にも対話がある」を事務局長の中村が執筆した。

### <雑誌>

①『授業づくりネットワーク』No.26 通巻334号

(2017年7月)

発行:学事出版

内容:特集「ゲーミフィケーションでつくる!主体的・対話的で深い学び」に、「貿易ゲーム～ゲームの先にある本当の学び～」として事務局長の中村が寄稿した。

②『初等教育資料』2018年2月号

(2018年2月)

発行:文部科学省教育課程課・幼児教育課編

内容:事務局長の中村が「国際協力NGOとつながる国際理解教育の授業」を寄稿した。

### <ラジオ>

FMラジオ J-WAVE「JK RADIO TOKYO UNITED」(2018年2月2日)

内容:FMラジオ J-WAVEの番組「TOKYO UNITED」にスタッフの小口瑛子が出演し、BE\*hiveでの取り組みについて紹介した。

### <新聞>

①毎日小学生新聞(2017年7月30日)

題目:につくる・ぼくらの未来 夏休み特別編 世界の目標、SDGsで自由研究

内容:毎日小学生新聞 自由研究を通してSDGsに迫ってみよう、という特集記事の作成に協力しました。

②教育家庭新聞(2018年1月1日)

題目:世界の食卓から学ぶグループワークで活用

内容:新春特別号で、教材『写真で学ぼう!地球の食卓 学習プラン10』が紹介された。

### <情報誌>

①『消費者教育研究』No.183

(2017年8月)

発行:(公財)消費者教育支援センター

内容:教材『写真で学ぼう!「地球の食卓」学習プラン10』が内閣府特命担当大臣賞を受賞したことを受け、特集記事で受賞式の様子と講評が掲載されたほか、教材紹介の記事を寄稿しました。

②『国際人権ひろば』No.136

(2017年11月)

発行:(一財)アジア・太平洋人権情報センター

内容:事務局長の中村が特集記事「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年以降の新たな教育目標とその達成に向けて」を寄稿した。

③『自治体国際化フォーラム』337号

(2017年11月)

発行:(一財)自治体国際化協会

内容:事務局長の中村が「持続可能な開発目標(SDGs)を地域で考える」を寄稿した。

以上



左から:毎日小学生新聞、初等教育資料、教育家庭新聞

## 資料 2: 「名義後援・協力」の実績一覧 (計 12 件)

### <後援名義>

- ①地球市民教育塾ひろしま  
「国際理解教育・開発教育ワークショップ」  
(2017 年 5 月 27 日)
- ②独立行政法人国際協力機構  
「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト  
2017」(2017 年 9 月～2018 年 2 月)
- ③(公財)滋賀県国際協会  
「平成 29 年度 国際教育教材体験フェア」  
(2017 年 6 月 25 日)
- ④(公財)日本クリスチャン・アカデミー 関西セミ  
ナーハウス活動センター  
「2017 年度 開発教育セミナー」  
(2017 年 7 月～12 月／全 6 回)
- ⑤(特活)ヒューマンライツ・ナウ  
「第 3 回全国中高生『世界子どもの日』映像スピー  
チコンテスト」  
(2017 年 7 月 10 日～9 月 30 日)
- ⑥(特活)APEX  
「適正技術フォーラム設立記念国際会議 持続可  
能な開発のための適正技術の新たな展望」  
(2017 年 11 月 4・5 日)

- ⑦(公財)ユネスコ・アジア文化センター  
「SDGs子どもワークショップ」  
(2017 年 11 月 3 日)

- ⑧(特活)日本ファンドレイジング協会  
「社会貢献教育オープンシンポジウム 2018」  
(2018 年 3 月 17 日)

### <協力名義>

- ⑨宇都宮大学  
「第 9 回グローバル教育セミナー『難民問題とグ  
ローバル教育Ⅱ』」(2017 年 11 月 10 日)
- ⑩(公財)プラン・インターナショナル・ジャパン  
「プラン・インターナショナル夏休み読書感想文コ  
ンクール 2017」  
(2017 年 6 月 21 日～9 月 11 日)
- ⑪JICA地球ひろば  
「地域と世界をつなぐSDGs 国際理解教育・開発  
教育・ESD等関係者のつながりと相互の学びを通  
じて」(2018 年 1 月 21 日)
- ⑫ミランダ・シュナーズさん講演会実行委員会  
「ミランダ・シュナーズさん講演会」  
(2018 年 2 月 27 日)

以上

## 資料 3: 他団体への「賛同」の実績一覧 (計 2 件)

### ①NGO非戦ネット

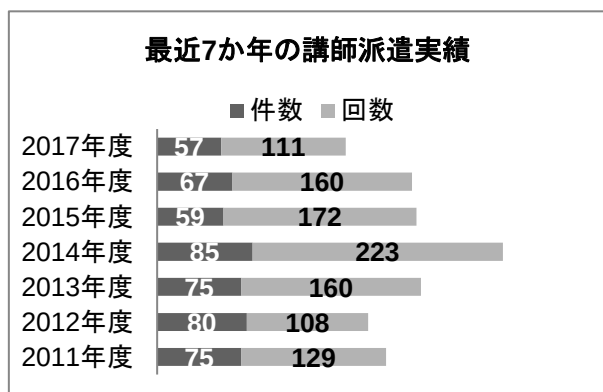
目的:国際協力・交流活動に取り組むNGOや市民  
の立場から、武力で平和は作れないという信念の  
もと、NGOだからこそ発信できる声を市民に届け、  
市民が広く結集するネットワークをめざす。  
期間:2015 年 7 月 2 日～

### ②「世界食料デー」月間 2017 みんなで食べ る幸せを

飢餓や食料問題に取り組む国際機関や  
NGO/NPO、企業や教育機関などが、世界食料  
デーに向けて実施する企画を相互に協力・広報を  
行うことで、1 人でも多くの人に飢餓や食料問題に  
ついて知ってもらう。また解決に向けて何ができる  
のか考え、行動する機会を提供する。  
期間:2017 年 10 月 1 日～31 日

以上

## 資料 4:「講師派遣」の実績一覧（計 57 件 111 回）



### 1 「新入生オリエンテーション」(2017.4.3./計 3 回)

主催:流通経済大学

内容:貿易ゲーム・コンビニ

対象:大学 1 年生

派遣者:中村絵乃(事務局長)、八木亜紀子(事業主任)、伊藤容子(事務局長)、小口瑛子(事務局長)

### 2 「新入生オリエンテーション」(2017.4.4./計 8 回)

主催:流通経済大学

内容:貿易ゲーム・コンビニ

対象:大学 1 年生

派遣者:中村絵乃(事務局長)、八木亜紀子(事業主任)、伊藤容子(事務局長)、小口瑛子(事務局長)、近藤牧子(評議員)

### 3 「国際教育ゼミ」(2017.4.26.)

主催:上智大学短期大学部

内容:豊かさの開発

対象:短大 2 年生

派遣者:西あい(事業コーディネーター)

### 4「グローバルシティズンシップ教育研修」

(2017.4.28.,9.30.,12.9./計 3 回)

主催:上尾東中学校

内容:グローバルシティズンシップ教員研修

対象:教員

派遣者:中村絵乃(事務局長)

### 5 「SDGsを知ろう」(2017.5.13.)

主催:立川青年会議所

内容:100 人村、SDGsワーク

対象:中学生・高校生

派遣者:中村絵乃(事務局長)

### 6 「国際教育 No.19」(2017.5.13.)

主催:横浜市立平楽中学校

内容:メディアリテラシー

対象:高校2・3年生

派遣者:井手将夫(ボランティア)

### 7 「JICA中国 国際協力推進員スキルアップ勉強会」(2017. 6.7.)

主催:JICA中国

内容:貿易ゲーム・100 人村

対象:国際協力推進員と開発教育担当職員

派遣者:山中信幸(DEAR 大阪運営委員)

### 8 「えんワークショップ」(2017.6.9./計 6 回)

主催:フリースペースえん

内容:援助する前に、ラップを作ろう、憲法についてなど

対象:えんにくる子どもたち、大人たち

派遣者:中村絵乃(事務局長)、星久美子(ボランティア)、小口瑛子(事務局長)

### 9 「国際セミナー」(2017.6.10./計 2 回)

主催:鎌倉女学院

内容:パーム油の話

対象:高校 1 年生

派遣者:小口瑛子(事務局長)

### 10 「国際セミナー」(2017.6.10./計 2 回)

主催:鎌倉女学院

内容:コーヒークップの向こう側

対象:高校 1 年生

派遣者:伊藤容子(事務局長)

### 11 「ピア・サポーター研修」(2017.6.28.)

主催:龍谷大学経済学部

内容:ファシリテーション

対象:大学 2・3 年生と教員

派遣者:佐藤友紀

### 12 「環境教育論」「専門演習 1」(2017.7.4./計 2 回)

主催:立教大学 社会学部 阿部治研究室

内容:授業ゲスト講師として、環境教育に係る NPO 法人の職員の現在の活動のお話し

対象:各学部 2・4 年、社会学部 2 年生

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

### 13 「文京学院大学国際協力コース概論」(2017. 7.4.)

主催:文京学院大学

内容:パーム油

対象:大学2～4年生

派遣者:伊藤容子(事務局長)



**14 「オリパラ教育推進支援事業」(2017.7.8./計 3 回)**

主催: 荻窪中学校

内容: 100 人村

対象: 中学 1 年生

派遣者: 中村絵乃(事務局長)、八木亜紀子(事業主任)、伊藤容子(事務局員)

**15 Panasonic「KWT グローバルサミット」**

**(2017.7.19./計 3 回)**

主催: 電通ライブ

内容: 100 人村、グループワーク、留学生研修

対象: 世界各国の子どもたち、大人たち

派遣者: 中村絵乃(事務局長)、伊藤容子(事務局員)、近藤牧子(評議員)、岩岡由季子(ボランティア)

**16 「職員責任者研修」**

**(2017.7.20,10.12, 2018.1.18./計 3 回)**

主催: 神奈川県民主医療機器連合会

内容: ファシリテーション

対象: 職員責任者

派遣者: 中村絵乃(事務局長)、西あい(事業コーディネーター)、伊藤容子(事務局員)

**17 「神奈川県消費者教育教員研修」(2017.8.4.)**

主催: 神奈川県消費生活課

内容: パーム油

対象: 小・中・高・特別支援学校等の教員

派遣者: 伊藤容子(事務局員)

**18 「JICA 国際教育セミナー」(2017.8.7.)**

主催: 青年海外協力協会 近畿支部

内容: 開発教育

対象: 教員・一般

派遣者: 佐藤友紀(理事)

**19 「地域国際化推進アドバイザー」(2017.8.17.)**

主催: 茨城国際交流協会・茨城県国際理解教育推進協議会

内容: ワークショップ

対象: 県内中学校、高等ヶ学校、特別支援学職員、当協会登録のファシリテーター、県内 NGO 団体

派遣者: 中村絵乃(事務局長)

**20 「東総支会 国際理解教育 教職員研修」(2017.8.17.)**

主催: 千葉県教育研究会 東総支会 国際理解教育部会

内容: 地球の食卓

対象: 小・中学校職員

派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

**21 「教育研修会」(2017.8.29.)**

主催: 国士舘高等学校昼間定時制課程

内容: ファシリテーション研修

対象: 高校教員

派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

**22 「JKK 夏期研修会」(2017.8.19.)**

主催: 全日本学校教材教具協同組合(JKK)

内容: 新企画提案と現場からの意見

対象: 教材代理店

派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

**23 「富貴中ハツラツプロジェクト」**

**(2017.8.31,11.11./計 2 回)**

主催: 富貴中学校

内容: 開発教育入門、ファシリテーション

対象: 中学 1～3 年生

派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

**24 「FD研修会」(2017.9.9.)**

主催: 奈良県立医科大学 看護学科

内容: ファシリテーション研修

対象: 看護学科教員

派遣者: 伊藤容子(事務局員)

**25 「FD研修会」(2017.9.19.)**

主催: 南九州大学 FD 推進委員会

内容: ファシリテーション研修

対象: 教員

派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

**26 「SGH 委員会」(2017.9.25.)**

主催: 早稲田大学高等学院

内容: 貿易ゲーム

対象: 高校1～3年生

派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

**27 「環境学習リーダー養成講座」(2017.9.30.)**

主催: 神奈川県環境科学センター

内容: 参加型学習の実践

対象: 県内在住・18才以上

派遣者: 伊藤容子(事務局員)

**28 「経済のグローバル化を考える」(2017.10.4.)**

主催: 浦安市高洲公民館

内容: 新・貿易ゲーム

対象: 18 歳以上の方

派遣者: 伊藤容子(事務局員)

**29 「高校国際教育支援事業」(2017.10.20./計 2 回)**

主催:公益財団法人 かながわ国際交流財団

内容:100 人村

対象:高校1～3年生

派遣者:伊藤容子(事務局員)、小口瑛子(事務局員)

### 30 「食」をめぐる知の冒険に旅立とう(2017.10.28.)

主催:昭和女子大学現代教育研究所／跡見学園中学校高等学校

内容:コーヒークップの向こう側

対象:中学3年～高校3年生有志

派遣者:伊藤容子(事務局員)

### 31 「東南アジア青年の船 事業課題別視察」(2017.10.30.)

主催:(一財)青少年国際交流推進センター

内容:貿易ゲーム

対象:東南アジア青年の船参加青年

派遣者:伊藤容子(事務局員)、小口瑛子(事務局員)

### 32 「オリパラ教育・国際理解」(2017.11.2./計4回)

主催:福生第六小学校

内容:100 人村

対象:小学校5・6年生

派遣者:中村絵乃(事務局員)、小口瑛子(事務局員)

### 33 「創立 120 周年記念行事」(2017.11.3.)

主催:北海道 YMCA

内容:活動をふりかえり、これからを考えるワークショップ

対象:YMCA 会員、スタッフ

派遣者:中村絵乃(事務局員)

### 34 「関東地区私立小学校教員研修会 外国語部会」 (2017.11.11.)

主催:関東地区私立小学校教員研修会

内容:地球の食卓

対象:関東地区私立小学校外国語担当教員

派遣者:伊藤容子(事務局員)

### 35 「オリパラ教育・国際理解教育」(2017.11.21.)

主催:下里小学校

内容:100 人村

対象:小学校5・6年生

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

### 36 「オリパラ教育・国際理解教育」(2017.11.27./計3回)

主催:福生第三小学校

内容:100 人村

対象:小学校6年生

派遣者:中村絵乃(事務局員)、八木亜紀子(事業主任)、小口瑛子(事務局員)

### 37 「全学年 1 年生対象「自立の探究」」 (2017.11.30./計2回)

主催:東京家政大学

内容:地球の食卓

対象:人文学部 1 年生

派遣者:中村絵乃(事務局員)

### 38 「JICA 筑波 高校生国際協力実体験プログラム 2017」 (2017.12.9.)

主催:青年海外協力隊

内容:SDGs

対象:茨城・栃木県 高校生

派遣者:大野のどか(入門講座タスク)

### 39 「来た KITA オリパラプロジェクト」 (2017.11.～2./計5回)

主催:北区立滝野川文化センター

内容:食、多文化共生、異文化理解

対象:一般

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

### 40 「異文化理解」(2018.1.9,16./計2回)

主催:聖心女子大学

内容:パーム油、スマホ

対象:大学生

派遣者:中村絵乃(事務局員)

### 41 「コーヒークップの向こう側」(2018.1.12, 1.26/計8回)

主催:千代田区立九段中等教育学校

内容:コーヒークップの向こう側

対象:中学3年生

派遣者:中村絵乃(事務局員)、八木亜紀子(事業主任)、伊藤容子(事務局員)、小口瑛子(事務局員)

### 42 「グローバルラボ(中3、中2)」 (2018.1.19,2.3./計2回)

主催:甲南高校

内容:貿易ゲーム

対象:中学2、3年生

派遣者:佐藤友紀(理事)

### 43 「中学生のための国際理解・国際協力講座」 第2回「もし世界が 100 人の村だったら」(2018.1.21.)

主催:公益財団法人 大阪交流センター

内容:貿易ゲーム、100 人村

対象:中学生

派遣者:佐藤友紀(理事)

### 44 「教育教材学習会」(2018.1.21.)

主催: (特活)AMDA 社会開発機構  
内容: ファシリテーション  
対象: 教職員、公民館職員、NPO 職員、ボランティア  
派遣者: 山中信幸 (DEAR 大阪運営委員)

#### 45 「生涯教育学 2」(2018.1.22.)

主催: 上智大学  
内容: スマホ  
対象: 大学生  
派遣者: 小口瑛子 (事務局員)

#### 46 「高校生国際協力実体験セミナー」(2018.1.27.)

主催: JICA 関西  
内容: 『「つづく世界」を手にするための私の一歩』  
(SDGs の理解、貧困とは?、未来予想図)  
対象: 高校生  
派遣者: 佐藤友紀 (理事)

#### 47 「2017 年度第 4 回かながわ NGO 学びの会」 (2018.1.27.)

主催: 横浜 NGO ネットワーク (JICA 横浜受託事業)  
内容: SDGs とスマホ  
対象: NGO スタッフ、ボランティア  
派遣者: 小口瑛子 (事務局員)

#### 48 「地域日本語教室ボランティアのための基礎講座」 (2018.2.11.)

主催: 社会福祉法人 さぼうと 21  
内容: バーンガ  
対象: .本語ボランティア  
派遣者: 中村絵乃 (事務局員)

#### 49 「オリパラ教育・世界を知ろう」(2018.2.6./計 3 回)

主催: 大田区立高畑小学校  
内容: 100 人村  
対象: 小学校 6 年生  
派遣者: 中村絵乃 (事務局長)、八木亜紀子 (事業主任)、伊藤容子 (事務局員)

#### 50 「くらしフェスタ東京」(2018.2.13.)

主催: 東京都消費生活実用委員会  
内容: 消費者教育の取り組み  
対象: 都民一般  
派遣者: 八木亜紀子 (事業主任)

#### 51 「オリパラ教育・世界を知ろう」(2018.2.17./計 3 回)

主催: 大田区立田園調布小学校  
内容: 100 人村  
対象: 小学校 6 年生  
派遣者: 中村絵乃 (事務局長)、八木亜紀子 (事業主任)、小口瑛子 (事務局員)

#### 52 「中等部・高等部教員研修 (H29 年度第 3 回)」 (2018.2.19.)

主催: 相模女子大学 中学部・高等部  
内容: (教員向け研修)  
対象: 中等部・高等部教員  
派遣者: 中村絵乃 (事務局長)

#### 53 「橋高校国際科を卒業しても世界について考え行動できる人になるための最終講座「メディアリテラシー～世界を複眼的に分析する力を持つ～」」(2018.3.1.)

主催: 川崎市立橋高校国際科 3 年  
内容: メディアリテラシー  
対象: 高校 3 年生  
派遣者: 近藤牧子 (評議員)、小口瑛子 (事務局員)

#### 54 「かわさきコンパクト交流会」(2018.3.12.)

主催: かわさきコンパクト推進事務局 (ダイナックス都市環境研究所内)  
内容: パーム油のはなし、SDGs  
対象: かわさきコンパクト加盟団体  
派遣者: 八木亜紀子 (事業主任)

#### 55 「ファシリテーション研修」(2018.3.22.)

主催: 長浜バイオ大学  
内容: ファシリテーション研修  
対象: 大学 2 年生  
派遣者: 中村絵乃 (事務局長)

#### 56 「コンサルテーション」(2018.4.～3./計 5 回)

主催: アサンプション中学・高校  
内容: 授業づくりのコンサル  
対象: 教員  
派遣者: 佐藤友紀 (理事)

#### 57 「グローバルフェスタ SDGs を知ろう」(2017.10.1.)

主催: 日航通信社  
内容: パネルトーク 司会  
対象: 一般  
派遣者: 中村絵乃 (事務局長)

以上

講師派遣の様子はスタッフ・ブログ「DEAR な日々」でレポートしています。 <http://dearstaff.blogspot.jp/>